

青森（酸ヶ湯温泉～八甲田山・十和田湖・奥入瀬渓流）

布引支部 稲葉順子

日時：令和4年10月16日（日）～18日（火）

参加者：渡田・大森・田中・久野・坂田・稲葉 6名

天候：晴れ・曇のち雨

【10月16日・日曜日】

神戸空港から11時55分発のFDA833便に乗り青森空港に13時35分に到着しました。空港内でレンタカーの手続きを終え、八甲田山ロープウェイに向け出発！八甲田山ロープウェイ乗場には14時40分頃に到着しました。日曜日で観光客が多く、ロープウェイ待ち時間1時間30分待ちと放送あり、皆と相談し乗車を断念する。近くの山々はブナ・ナナカマド・カエデ・ダケカンバの雄大な紅葉で感動しました。



ロープウェイ乗場



奥の山は八甲田大岳

今夜泊まる、酸ヶ湯温泉に向かう車内から見える、木々の紅葉の風景には心を奪われてしまいました。



酸ヶ湯温泉旅館



八甲田大岳登山口で

15時10分頃に酸ヶ湯温泉旅館駐車場に到着する。旅館前の売店で生姜味噌おでんに舌鼓。お腹が少し膨れたところで明日登る酸ヶ湯温泉登山口迄行き、山々の色づくに魅せられて、思わず少し登り写真タイムでした。インフォメーションセンターも見学して、

八甲田山に来た実感が湧きました。今日はお天気もよく、とても心地良い秋風でした。紅葉の景色を楽しんだ後は、今日泊まる約 300 年の木造建築レトロな酸ヶ湯温泉旅館に、16 時頃にチェックイン後各部屋に荷物置き「玉の湯」に入る。



囲炉裏を囲んで乾杯



夕食のメニュー

食堂での夕食は 18 時半からで、囲炉裏のテーブルにて、今日の無事到着に乾杯! 「ヒバ千人風呂」が有名で通常混浴ですが、20 時~21 時迄女性専用となるので、20 時過ぎに四分六分・湯龍を楽しむ。明日の好天を祈りながら、準備をし、早目(?)に 22 時半に就寝する。

【10 月 17 日・月曜日】

お天気が心配でしたが、旅館の 1 階から外を見ると太陽の陽射しが目に入り安堵する。朝食を終え出発準備する。7 時 45 分頃にチェックアウトを終える。さあ青森の名峰八甲田山へ出発、山名の意味は八は数えきれないたくさんある。甲は、カブト状の山。田は湿地だそうです。

8 時 17 分に酸ヶ湯温泉登山口の鳥居をくぐり、少し山道を登っていくと 400 メートル程で両側に立ち枯れの木々の広場があり、何となく不気味な景色、硫化水素ガスの影響と知る。登山道は一本道のように、細いブナやダケカンバの鮮やかな色づきや右手に南八甲田の山々、インフォメーションの赤い屋根もハッキリ見えてました。服装調整をし水分補給する。アオモリトドマツが両側に出てくると、硫黄臭がしてくる、前方を見ると沢がありガシ場がある。ペンキ印とピンクリボンがある、浮石に注意して登ろうと気合いを入れる。何度か渡り返すと平坦になる。



酸ヶ湯温泉登山口



立ち枯れの広場

空を見上げると雲の流れも早く不安でした。

仙人湿原の西端の木道歩いていると中央位に八甲田清水が湧き出している。木道を進んで行くと小岳分岐の道標を確認する。初夏から夏には高山植物が咲き乱れてるのかなと思いながら、分岐からさらに道なりに進んで行くと少し風が出てきた。大岳を見上げながら一歩ずつ前進、大岳の登りになると横なぐりの突風と雨、足元はザレ場、風の強さで身体を持っていかれそうになる、四つん這いになりながら、ロープを持ちながら八甲田山大岳山頂に到着しました。突風の中写真を撮り、安全の為に同じ登山道下山を決め、突風に飛ばされないように来た道に戻る。途中、立ちながら軽い食事でお腹を満たし下山する。14時半位に下山できインフォメーションセンターに向かう時に雨が降ってきました。天候が良ければ、山頂は平で広く360度の東北のパノラマが見れたのにな～残念！



八甲田清水



小岳分岐で（左後方は大岳）



八甲田大岳



強風の中、頑張って登っています



凄い風でした



広い山頂（景色が見えなくて残念）

雨の奥入瀬渓流を車中から眺めながら十和田湖迄移動し乙女の像を見学。高村光太郎の最後の作品で高さ21メートルの2人の裸婦が左手を合わせ向かい合っている、私達も同じポーズで写真タイム。

本日の宿、奥入瀬グリーンホテルに到着した時はすっかり日が暮れていました。温泉に入り今日の疲れを癒し、冷えたビールで乾杯。



十和田湖畔の「乙女の像」の前の乙女

奥入瀬グリーンホテルの夕食

【10月18日・火曜日】

早朝6時に奥入瀬渓流散策に向かう。美しい清流の流れ、色鮮やかに染まる紅葉、息を呑むほどの渓流美を楽しみながらゆっくりと散策を続けていると、最も有名なビューポイント「阿修羅の流れ」に到着する。CMやポスターに採用された名所です。岩や木々の間を激しく流れる姿は迫力満点でした。



流れのように美しく



奥入瀬渓流「阿修羅の流れ」



ホテルに戻り朝食を済ませチェックアウト。帰り迄の時間の余裕があるので、雪中行軍遭難記念像を見に行く。移動中雲行きが怪しくなり、曇から大雨に変わり暫く車中で雨宿りをしました。リーダーの予想通り雨が止み、後藤房之助伍長の像迄急ぎ足で坂を登る。八甲田山の映画を観られた方も多いと思います。猛吹雪の中次々と倒れていく姿を思い出します。



雪中行軍遭難記念像



後藤伍長に敬意を表して

その後青森空港に向かい、レンタカー返却し搭乗手続きを済ませる。
出発迄の時間に昼食タイム。海鮮丼に舌鼓、青森のりんご等のお土産を購入それぞれ購入する。
女心と秋の空でしたネ。

(写真提供：渡田哲夫)